



9月定例会 活動報告

9月2日～10月16日まで45日間の会期で、さいたま市議会9月定例会を開催しました。今議会では、市長提出議案が31件、議員提出議案が1件、委員会提出議案が1件、請願が10件（継続3件含む）を審査しました。

市長提出議案のうち、2021年度から10年間の市政運営方針となる総合振興計画基本計画の議案を特別委員会を設置して、常任委員会を分科会として、保健福祉委員会所管を分科会主査として審査しました。しかし、討論・採決の前に議論が尽くされていないということで、この議案は全会派一致で継続審査となり、次の12月定例会で改めて審査することになりました。



主査報告をする さいとう健一



委員長報告をする さいとう健一

さいとう健一・保健福祉委員会の委員長報告（要旨）

本委員会に付託されました、議案第176号「さいたま市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」は全員異議なく原案可決しました。

請願25号「新型コロナウイルス感染拡大に備える検査、医療体制の強化、医療機関支援に関する請願」については、採決の結果、起立少数にて不採択すべきと決しました。

議案内容と審議結果の詳細は「さいたま市議会」(<https://www.city.saitama.jp/gikai/>)のホームページから見る事が出来ます。



9月定例会で可決した主な新型コロナウイルス感染症への対応

《感染の再拡大に対応可能な検査・医療体制の整備》

- (1) 患者等を受け入れる医療機関等に対し、個人防護具、簡易診療室及びPCR検査機器の購入等に必要な費用を補助します。
- (2) 検査機器を購入するなど、新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査体制を強化します。



《雇用の維持と事業の継続等の支援》

- (1) 今後の運行継続を図るため、市内の路線バス事業者・タクシー事業者に対して支援金を給付します。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年度に予定していた小・中・高等学校の修学旅行等の中止及び延期により発生する経費について、保護者の経済的な負担をなくします。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響により国民健康保険税の減免の対象となった被保険者のうち、既に納付した者に対して、保険税の還付を行います。

《経済活動の回復に向けた消費喚起策》

- (1) 飲食店や生活関連サービス等における消費を促すため、プレミアム付商品券を発行します。額面12,000円の商品券を10,000円で販売。
- (2) 宿泊促進による地域経済の活性化を図るため、宿泊施設が実施する宿泊代金の割引に要する経費について、補助金を交付します。「さいたま割」と記載のある宿泊料金のうち、1室1泊につき、3,000円を上限に割引。割引額は、各宿泊施設で異なります。

《感染拡大防止と新たな暮らしのスタイルの確立》

- (1) 災害時の避難所運営に当たり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底するための備蓄品を各避難所に追加で配備します。
- (2) さいたま市Web学習コンテンツ「スタディエッセンス」について、操作性と利便性を向上させるシステム構築を行います。
- (3) ICTの活用による学びの保障を進められるよう、家庭でのインターネットを利用した学習環境の構築等を行います。



議案質問をする さいとう健一

「令和3年度予算編成並びに施策に対する要望書」を提出



要望書を提出する さいとう健一

9月30日に市長室で、清水さいたま市長に会い要望書を手渡ししました。

要望書では、新型コロナウイルス対策を最優先課題とした上で、

- ① 特別養護老人ホームなどの避難確保計画の推進
- ② 待機児童解消に向けた保育所や放課後児童クラブの施設整備
- ③ 地域包括ケアシステムなど高齢者施策の充実
- ④ コロナ禍における中小・小規模事業者への事業資金融資枠の拡充

など9分野71項目を求めました。

※提出した「令和3年度予算編成並びに施策に対する要望書」の詳細は私のホームページを参照してください。

